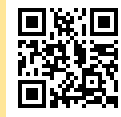




東中学校だより(6) 令和5年8月21日

麓あかくそびえて建てり

校歌の一節より



佐久市立東中学校 〒385-0007 佐久市新子田 1396-1 Tel.67-2392 文責:召田幸司(教頭)

85日間の2学期がスタートしました。校長先生は「挑戦する学期に」と話されました。

校長先生のお話 ～2学期始業式～

生徒会最大行事の白樺祭がある2学期。そして、学習でも最も実りのある2学期。この2学期のはじめにあたり、今日は「挑戦」についてお話ししたいと思います。

以前、米国ニューヨーク大学の研究者による論文について、興味深いお話を聞きました。内容は、ハイハイの段階からよちよち歩きに移行しはじめた赤ちゃんの歩行を計測したという内容のものです。対象は、1歳から1歳7ヶ月までの赤ちゃん140人についての行動追跡を行ったところ、赤ちゃんの平均歩行歩数は「1万4208歩」、距離にして「4.2km」だったそうです。

しかし、**私が心に残ったのは、歩くために転んだ回数です。**赤ちゃんが1日転んだ回数の平均は「102回」で、中には、「1時間で69回も転倒」した赤ちゃんもいたそうです。しかも、立ち上がるたびに倒れずに歩く距離をのばし、歩行速度も上がっていったそうです。まるで一歩ずつ、自分が変わっていくのを楽しんでいるかのように・・・。

何かに「挑戦」する時、2つのことがとても大切だと考えます。1つは、「失敗を恐れない」こと。もうひとつは、「あきらめず継続する」こと。たとえば、普段の授業ではどうですか? 「なぜ」を大切にしながら、主体的な追究ができていますか? なかなか解答にたどり着かなくても粘り強く追究できていますか? 学習では、アウトプットすることで、理解をより深めることがいわれています。そういったときに、「間違えたらどうしよう・・・」としりごみするのではなく、是非「自分はこう考えます。」と発表してほしいと思います。また、周りの人たちは、お互いの意見を尊重しながら、決してばかにすることなく、結論の正解のみならず、その過程の「思考」を尊重して欲しいと思うのです。

生徒会では、生徒会スローガン「こえる」のもと、すでに挑戦がはじまっていますね。私は、「生徒のつどい」の取り組みへの“挑戦”に大きな可能性を感じています。ホンダの創始者、本田宗一郎さんの言葉にこういった言葉があります。『チャレンジしての失敗を恐れるな。何もしないことを恐れる』と。

最後にみなさんへのメッセージを送ります。『挑戦』とは「あらたなるみらいへ」です! 10年後、20年後の未来を切り拓くのは、今ここにいる皆さんです! 変化を恐れず、失敗を恐れず、「思考力」「判断力」を磨きながら、今の自分を超えられるよう、様々なことに挑戦していきましょう。ただし、周りの人への「思いやり」を常に心にとめながら・・・。



夏休み中の活動紹介

始業式の中で校長先生も紹介されましたが、夏休み中には「1学年の高遠宿泊学習」と「2学年の職場体験学習」がありました。周りの人の喜びをいきとして、大きな成長につながる活動となりました。

<1学年 高遠宿泊学習>



<2学年 職場体験学習>

